

第15期かながわ国際政策推進懇話会委員の最終報告（案）への意見

提言2 外国籍県民かながわ会議の委員以外の外国人の意見や提案を幅広く確認できる制度

- 会議の委員以外の外国人の意見や提案を幅広く確認した上で、外国籍県民かながわ会議の委員が提言内容とするか検討し、提言していく。

＜懇話会委員からの意見＞

- 「委員以外の外国人の意見や提案を幅広く確認できる制度」とありますが、「確認（する）」ということばが少し分かりにくいです。「集める」を使ってはいかがでしょうか？

提言5 外国人保護者と子どものための教育支援、発達障害の子どもに対する支援の課題解決と保護者への情報提供の拡充

- 神奈川県内の小中高の学校現場において、特別支援学級に通う外国人児童・生徒の実態や支援状況について調査し、結果を保護者や支援者、関係者に公開してほしい。
- 発達障害に関する外国人保護者向けの分かりやすい資料や説明会を、多言語で開催してほしい。

＜懇話会委員からの意見＞

- 「（支援の）課題解決」ということばが、説明文と合わないように感じます。説明では、「実態や支援状況について調査」して、「結果を…公開する」と書いてあります。
- 「課題解決」よりも「実態把握」のほうが近いように思いました。提言したい内容を、もう一度、確認していただくとよいと思います。

提言7 通訳ボランティアのための支援

～ボランティアが保護され、力を伸ばすことができる施策の必要性～

- ・ 通訳ボランティア団体が実施する研修会で、心理カウンセリングなどの研修を追加する。
- ・ 神奈川県外国人専用相談窓口の時間外に人工知能Chat GPTなどのAIを設置し、外国人からの電話相談に人工知能の音声で答えられるようにする。
- ・ 日本語支援や母語話者支援を続けるため、その人材に妥当な報酬を支払う。

<懇話会委員からの意見>

- ・ 「通訳ボランティア団体が実施する研修会で……」とありますが、県への提言で、団体への要望を出すことに違和感があります。
- ・ 「提言理由」には、医療通訳者に対して心理カウンセリングの研修が必要と書いてあります。
- ・ もし対象が医療通訳者のみならば、提言の文に、そのように明記するほうが分かりやすいと思います。
- ・ 人工知能を使って答えられる質問とそうでない質問があると思います。たとえば「簡単な問合せの場合には」人工知能で答えられるようにするなど、補足をしてはいかがでしょうか？